

掛川市監査委員告示第1号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第2項の規定に基づく行政監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果を別紙のとおり公表する。

平成29年1月18日

掛川市監査委員 横山 茂 明

掛川市監査委員 大石 與 志 登

平成28年度

行政監査結果報告書

掛川市監査委員

# 目 次

	ページ
第1 監 査 の 種 類	1
第2 監 査 テ ー マ	1
第3 監 査 の 目 的	1
第4 監査の対象及び所管	1
第5 監 査 の 期 間	1
第6 監 査 の 着 眼 点	1
第7 監 査 の 方 法	2
第8 監 査 対 象 の 概 要	2
第9 監 査 の 結 果	3
第10 意 見	8
別 表 1 ～ 別 表 7	10～18
参 考 資 料	19

# 平成28年度 行政監査結果報告書

## 第1 監査の種類

地方自治法第199条第2項に基づく行政監査

## 第2 監査テーマ

防災対策（物資の備蓄、関連備品の整備・管理、防潮堤の進捗状況等）について

## 第3 監査の目的

地震や風水害などの大規模な自然災害が全国各地で発生し、甚大な被害をもたらしているが、物資の備蓄や関連備品の整備は、市民の生命・身体の保護や災害発生初期における円滑な救援活動を行う上で極めて重要である。

また、津波被害をなくすため、遠州灘沿岸の各市同様、本市においても重点事業に位置づけ防潮堤整備を進めているが、市南部の人口減少や地価の下落が続き厳しい状況であり、着実な事業推進が必要である。

本市が掲げる「希望が見えるまち・誰もが住みたくなるまち掛川」の実現に向け、防災対策の充実や防潮堤の早期完成が望まれることから、行政監査を実施する。

## 第4 監査の対象及び所管

### 1 監査対象

- (1) 広域避難所に整備・管理されている物資や関連備品
- (2) 防潮堤工事

### 2 所管部局

危機管理部、都市建設部事業調整室

## 第5 監査の期間

平成28年8月24日から平成29年1月12日

## 第6 監査の着眼点

- (1) 適切な整備計画により計画的に整備されているか。
  - ア 必要十分な品目が整備されているか。
  - イ 適正な根拠による数量の算出がされているか。
  - ウ 年次計画に遅延するものはないか。
- (2) 防災倉庫の配置や物資・備品の配備数、品質管理は適切か。

- ア 防災倉庫の配置場所は適切か。
- イ 数量管理が適切に行われているか。
- ウ 品質等は確保されているか。
- エ 期限切れのものはないか。処分は適切か。

## 第7 監査の方法

着眼点に基づいて作成した行政監査調査票及び関係書類の提出を所管部局に求め、記載事項について土方小学校他10箇所の保管場所と防潮堤の現地調査及び関係職員からの聞き取りを行った。

## 第8 監査対象の概要

### 1 整備計画について

監査対象の整備計画については、平成25年6月と11月に静岡県が発表した「静岡県第4次地震被害想定」における被害予測を受け策定した「掛川市地震・津波対策アクションプラン2014」と、平成25年12月に公布された「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法」により、県内市町で最初に策定した「掛川市国土強靱化地域計画」に定めている。

防潮堤整備もこの2つの計画に位置づけているが、整備手法等については海岸防災林強化事業「掛川モデル」基本計画を策定し、推進している。

整備の内容、目標値は別表1（10頁）の通りである。

### 2 広域避難所について

災害対策基本法に基づき策定した「掛川市地域防災計画（平成28年1月改定）」では、被災者が避難生活を送れるよう、市内42箇所に広域避難所を設置することとしている。

広域避難所は、参考資料1（21頁）の通りである。

### 3 食料や資機材の整備について

「掛川市地域防災計画」では、警戒宣言発令期間が長期化した場合、及び地震災害が発生した場合の生活を確保するため、市が実施すべき事項と市民（自主防災組織）が実施すべき事項を定めている。

監査対象に係る事項は次の通りである。

- (1) 非常持出しができない被災市民や旅行者等に対する食料の最低限の備蓄。
- (2) 流通在庫方式による確保が困難な物資の一部備蓄。
- (3) 避難所に必要な次の設備及び資機材をあらかじめ配備し、又は必要なとき直ち

に配備できるよう準備しておく。

(1) 通信機材	(7) 物資の集積所
(2) 放送設備	(8) 仮設の小屋又はテント
(3) 照明設備（非常用発電機を含む。）	(9) 仮設便所
(4) 炊き出しに必要な機材及び燃料	(10) 防疫用資機材
(5) 給水用機材	(11) 清掃用資機材
(6) 救護所及び医療資機材	(12) 工具類

なお、高齢者、障がいのある人、乳幼児、妊産婦等の要配慮者にも配慮又は準備に努める。

## 第9 監査の結果

10箇所 の保管物品と管理状況を確認した結果は次のとおりであるが、改善すべき点が認められた。

### 1 備蓄食料について

- (1) 食料の種類（白飯、五目、山菜、お粥、リゾット等）、数量、購入年月、保存期限については広域避難所別に管理されているが、一部の広域避難所で保管数量の不一致があった。
- (2) 食料は防災倉庫でなく、学校の校舎や体育館内に保管されている。過去に保管を依頼したがスペース確保が困難であった横須賀高校には備蓄がない。保管スペースに限りがあるためか、想定する避難所避難者数 29,784 人を各広域避難所別人口割合より按分してみると、広域避難所ごとの備蓄数に偏在が見受けられた。（別表 2・11 頁）

また、広域避難所ではない施設の備蓄としては、生徒や教師用として東山口小学校、追加設置救護所となっている千浜農村環境改善センター、三の丸倉庫、大東支所、大須賀支所に備蓄されている。

生徒や教師用としての備蓄は、各学校に 2～16箱（1箱50食）備蓄されている。

- (3) 賞味期限はほとんどが購入から 5 年となっており、期限切れ前に 12 月の防災訓練で必要とする自治会に配付している。27 年度の備蓄食料の購入は、5 月に執行伺いが行われ、6 月 5 日に契約しているが、納入期限を翌年 1 月 29 日とし、納入された日は 1 月 22 日であった。
- (4) 乳幼児用のミルクはなく、お粥やリゾットの備蓄数量が全体数に比べ少ない。
- (5) 備蓄目標数は、静岡県第 4 次地震被害想定で、南海トラフ巨大地震によるレベル 2 の地震・津波が発生した際に、最も避難所への避難者数が多くなる人数を採用しているが、これとは別に避難所以外への避難者想定数として 29,634 人が想定され

ている。この避難者も食料を避難所に求めてくることも考えられる。

## 2 災害用トイレ、簡易トイレ袋について

- (1) 簡易トイレ、ワンタッチトイレ、組立てトイレ等、様々な形態のトイレを備蓄し、多様なニーズに対応できる品揃えとしている。
- (2) 各広域避難所別資機材点検表における単位の相違や空欄があり、危機管理課が確保済としている 654台と各広域避難所保有台数の合計の確認はできなかった。また、台箱・目標台数は避難対象者 29,784人について 50人に1台の割合で 600台の備蓄を目標とし、654台を確保済としているが、食料と同様に避難所避難者を按分した場合、広域避難所ごとの保管種類、保管数に偏在が見受けられた。  
(別表 3・12頁, 4・13頁)
- (3) 耐震性の高い建物を広域避難所に指定し、簡易トイレは建物内部のトイレスペースを使用することを前提としているため、女性等災害弱者のプライバシーを保護できるテント等備品は少ない。

## 3 飲料水について

- (1) 各広域避難所に備蓄されている飲料水は、企業からの寄付によるもので備蓄計画に含まれているものではない。計画では、配水池・飲料水兼用貯水槽等の貯水量により、目標量は確保済となっている。
- (2) 整備計画にある給水袋が各広域避難所に配備されていない。掛川区域の広域避難所には、掛川東高校を除き給水ポリタンクが配備されていた。

## 4 毛布について

- (1) 毛布の保管数は、現状では各支部員（危機管理課以外の市職員）が毎年の訓練時に確認したもののみで、三の丸倉庫は枚数の把握及び管理台帳等による確認ができなかった。また、一部の広域避難所で保管数量の不一致があった。
- (2) 食料と同様、保管スペースに限りがあるため、広域避難所ごとの保管数に偏在が見受けられた。(別表 5・14頁)
- (3) 各支部員が毎年の訓練時に確認する広域避難所ごとの資機材点検表において、単位が箱数と枚数のものがある。

## 5 資機材について

- (1) 長テーブル、椅子、キャンパス水槽、安全ロープ、防塵マスク等、合併前に整備されたものや地域で持ち寄ったものがあり、掛川・大東・大須賀区域ごとに異なる備品、資機材の偏在が見受けられた。(別表 6・15頁)
- (2) 各支部員が毎年の訓練時に確認する広域避難所ごとの資機材点検表において、各

支部員が追加された資機材の名称や単位を判断しているところがあり、統一されていないため、同程度の資機材が各広域避難所に配備されているか、同定が困難である。

- (3) 炊き出し用の器具が大東・大須賀区域になかったが、今年9月の総合防災訓練前に配備された。しかし、ガスボンベの保管はない。また、ガソリンの交換は27年夏に行っているとのことであるが、交換した時期を表示したものがない。
- (4) 簡易間仕切りの整備目標数が各避難所に10張となっている。整備目標の根拠が不明であり、1張が2.6 m×2.6mの大きさから考えると少ないのではないかとと思われる。
- (5) 鳥取中部地震では、屋根にかけるブルーシートを配布したが、本市の備蓄量は少ない。

## 6 防災倉庫について

- (1) 市内42の広域避難所に防災倉庫が置かれているが、ほとんどが学校の敷地内のため、避難所となる校舎や体育館から遠い場所に設置されていたり、段差等により発電機や毛布等が運びにくく、また、雨天の際の運搬に苦慮すると思われる場所に設置されている防災倉庫がある。
- (2) 掛川区域の防災倉庫は、大東・大須賀区域の防災倉庫に比べ半分程度の大きさであり、老朽化も著しい。
- (3) 掛川区域の防災倉庫の鍵はダイヤル式ロックによる南京錠、大東・大須賀区域の鍵は防災倉庫自体の鍵により施錠されている。
- (4) 防災倉庫が手狭であるため、どの避難所も食料、資機材の一部を学校の校舎や体育館に置かせてもらっている状態である。(別表7・17頁)



### 和田岡小学校の防災倉庫



### 掛川西中学校の防災倉庫



※掛川西中学校は初動時救護所を併設するため、和田岡小学校の防災倉庫に比べ少し大きい（右）。資機材も多いため、大須賀区域で不要となった防災倉庫（左）を移設し、現在は2基の防災倉庫が置かれている。大東・大須賀区域の防災倉庫は左の写真とほぼ同じ規格の倉庫が配置されている。

### 和田岡小学校体育館ステージ脇、下の保管状況



三の丸倉庫の状況

食料



間仕切り



毛布



敷マット





## 7 防潮堤について

- (1) 27年度までに植樹された箇所については、市民や企業のサポーターによる除草作業によりきれいに保たれている。
- (2) 県の治山事業で植樹された箇所で、ヤマハモーターパワープロダクツ(株)と県、市で協定を締結した「ヤマハの森」についてもきれいに保たれている。
- (3) 現場は、市の盛土事業と県の治山事業が行われていた。盛土の予定量の確保や関係機関との調整により、26年度、27年度とも、事業費の一部を繰越している。



## 第10 改善すべき事項及び意見

市内に42箇所ある広域避難所のうち9箇所について、物資や関連備品の管理状況等を現地で確認した。校舎、体育館や防災倉庫におおむね適切に管理されていると認められたが、次の通り改善すべき事項及び意見を申し述べる。

### 1 保管場所の確保について

学校により防災備品を保管するスペースの確保が困難であることや、合併以前に整備した掛川区域の防災倉庫が大東・大須賀区域に比べ小さいことにより、各広域避難所の食料や毛布等の備蓄数に偏在が見受けられた。三の丸倉庫、大東支所、大須賀支所に一定数を備蓄しているが、道路の寸断や発災後の人員面等を考えると災害発生初期に各広域避難所へ運搬することは厳しいと思われる。災害発生初期の食糧や生活必需品、資機材の確保は、円滑な救援救護活動を行う上で重要であり、広域避難所ごとに差があってはならない。三の丸倉庫や大東・大須賀支所への備蓄を減らし、各広域避難所へ偏在のない備蓄を進めるよう改善されたい。これには、保管場所の確保が必要となるため、掛川区域の防災倉庫追加整備を早急に進めるとともに、施設管理者の理解を得て、保管場所の確保にも注力されたい。

### 2 食料の保管について

食料の購入は、自治会へ期限切れ前の備蓄食料を配布する前に納品させ、一時的にも備蓄数が減少することのないよう、発注する際の納期等に留意、改善されたい。

### 3 管理面の改善について

簡易トイレやテント、照明器具など、規格・機能による偏在や保管数の偏在、数量の誤りをなくすよう、危機管理課で広域避難所等保管場所別の資機材管理表を作成し、管理されたい。また、資機材の点検にあっても、規格や単位等を統一する点検基準を危機管理課で明確にし、適確な数量把握をするよう改善されたい。

また、保管ガソリンの交換した日や発電機の点検日が分かるようにされたい。

### 4 食料や資機材の追加、検討について

食料や生活必需品は各自が備蓄しておくこと、備蓄する人を増やすことを前提としており、今以上に周知啓発を図る必要があるが、持ち出しできない被災者を想定し、高齢者、乳幼児、女性等に配慮した紙おむつやミルク、感染症予防のマスクや手指消毒液などの生活用品の備蓄や、お粥やリゾットの増量も検討されたい。

全国各地の災害後の状況を見ると、ブルーシートの配布が有効である。プライバシーの確保や子育て、ペットなどを理由に車で避難生活を送る人も多くなり、エコノミークラス症候群を発症する避難者も増加している。雨漏りや雨よけ、囲いなどに活用可能なブルーシートや、簡易間仕切り、敷マット等、資機材の備蓄数の増量や規格等について検討し、被災者の生活・健康の維持、避難所の質の向上に努められたい。

### 5 防潮堤について

防潮堤の整備は、関係機関や民間等との連携、全庁的な取り組みにより、一日も早い完成と、将来にわたり子どもや若者が集う「掛川潮騒の杜」づくりの実現に尽力されたい。また、河口部の津波対策や海岸の浸食対策についても、国や県への要望を強化されたい。

平成 28 年 5 月に行った市民アンケート調査では、「防災対策の強化」が 18 の重点プロジェクトのうち最も優先度が高いという結果であった。

安全・安心できるまちづくりの推進のため、今回の監査対象事業に限らず、掛川市国土強靱化地域計画、掛川市地震・津波対策アクションプログラム 2014 の施策を推進し、目標である死亡者ゼロの早期達成に注力されたい。

※ 防潮堤を整備する海岸防災林強化事業「掛川モデル」の整備促進にあたっては、地元の市議会議員、区長を始めとする関係者へ情報提供を行い、住民や企業自らが安全・安心な生活を確保するため、協働して整備促進を図ることを目的に「掛川モデル推進協議会」が設立されている。その協議会代表者を議会選出の大石監査委員が務めているため、地方自治法第 199 条の 2 に抵触する可能性を考慮し、防潮堤に対する監査については、除斥した。

(別表1) 掛川市国土強靱化地域計画及び掛川市地震・津波対策アクションプラン2014  
目標値と平成27年度末実績

国土強靱化計画No.	アクションプランNo.	事業内容	目標指標	国土強靱化計画 (H26～37年度)		H27年度末 実績	
				数値目標	達成時期		
							主要な取組
16	13	津波に対する津波対策施設（海岸）の整備	最大13mの津波が予測されている。海岸線を管理する静岡県の整備はレベル1に対応したものであるため、静岡県にレベル2に対応した防潮堤の築堤を要請し、津波に強いまちづくり、津波における人的被害をゼロとすることを目的とする。	津波に対する整備が必要な津波対策施設の整備率  計画堤防延長 9.0km	80% (7.2km)  (100%)	H37年度  (H40年度)	5% (0.42km)
55	32	非常食を持ち出せなかった避難者の食料の備蓄	災害時に非常食を持ち出せなかった避難者の食料確保と円滑な配給を行うことを目的とする。 食料の計画的整備において、各避難所への分散備蓄を進める。	避難所生活者3日分の食料の確保  避難所生活者数 29,784人×3食×3日 =268,056食	100% (268,056食)	H37年度 (維持)	78% (207,850食)
56	33	避難者の生活水と配布物資の確保	①災害時の市民の飲料水や生活用水を確保し、円滑に給水を行うことを目的とし、市内にある貯水槽や受水槽、また、飲料水ペットボトルの維持管理を行うとともに、給水にかかわるマニュアルの整備や給水訓練を継続的に行う。	避難所生活者3日分の飲料水の確保  避難所生活者数 29,784人×3食×3日 =270トン	100%	H37年度 (維持)	100%
57			②発災直後は、市内ほぼ全域で断水し、1週間でも給水人口の6割以上で断水が見込まれるため、応急給水活動がスムーズに行われるよう備蓄する。(各支部等にも備蓄する。)	非常用給水袋の備蓄枚数 (約45,000袋)  非常用給水袋 5ℓ袋× 給水件数45,000件備蓄。	100% (45,000袋)	H31年度	67% (30,000袋)
68	60	広域避難所の機能充実	避難所への停電時電源切替装置の導入、発電機や投光器、蓄電池式充電器、救護所施設への太陽光発電照明といった電力の確保、また、毛布や敷マット、簡易トイレ用の替え袋、浄水器等の資機材の整備を行う。	避難所の整備等の拡充 ・停電時電源切替装置 ・太陽光発電照明 ・蓄電池式充電器 ・簡易用トイレ袋 ・備蓄毛布 ・遺体収納袋 ・投光器 ・発電機 (大型インバーター式) ・浄水機 ・敷マット (1箇所×3巻)	100% (46施設)	H37年度 (維持)	61%

(別表2) 備蓄食料に関する検討資料

No.	広域避難所名 (支部)	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)
		地区人口	避難所避難者 想定数 (※1)	想定避難者が 必要とする 食料数 (※2)	食料備蓄数 (※3)	(D)-(C) (※4)	備蓄充足率 (※5)
	(単位)	人	人	食	食	食	%

## &lt;災害対策支部&gt;

1	第一小学校	1,673	413	3,714	3,950	236	106.4
2	掛川市総合福祉センター	1,097	271	2,435	950	-1,485	39.0
3	掛川西高校	2,263	558	5,024	4,950	-74	98.5
4	中央小学校	2,256	556	5,008	4,450	-558	88.9
5	西中学校	6,143	1,515	13,638	7,600	-6,038	55.7
6	掛川東高校	5,408	1,334	12,006	5,100	-6,906	42.5
7	掛川工業高校	6,577	1,622	14,601	5,100	-9,501	34.9
8	第二小学校	3,265	805	7,248	3,250	-3,998	44.8
9	東中学校	7,049	1,739	15,649	6,550	-9,099	41.9
10	城北小学校	5,904	1,456	13,107	9,000	-4,107	68.7
11	北中学校	5,252	1,296	11,660	5,450	-6,210	46.7
12	上内田小学校	2,364	583	5,248	2,600	-2,648	49.5
13	西山口小学校	2,497	616	5,543	3,550	-1,993	64.0
14	栄川中学校	2,925	722	6,494	4,600	-1,894	70.8
15	日坂小学校	1,172	289	2,602	1,800	-802	69.2
16	東山地域生涯学習センター	500	123	1,110	950	-160	85.6
17	倉真小学校	1,708	421	3,792	2,550	-1,242	67.3
18	西郷小学校	2,970	733	6,594	3,250	-3,344	49.3
19	さくら咲く学校	578	143	1,283	1,450	167	113.0
20	原田小学校	1,060	261	2,353	1,800	-553	76.5
21	原野谷中学校	708	175	1,572	2,900	1,328	184.5
22	原谷小学校	4,087	1,008	9,073	4,650	-4,423	51.2
23	桜が丘中学校	5,751	1,419	12,767	6,350	-6,417	49.7
24	桜木小学校	5,695	1,405	12,643	7,650	-4,993	60.5
25	和田岡小学校	3,174	783	7,046	3,650	-3,396	51.8
26	曾我小学校	3,400	839	7,548	3,400	-4,148	45.0
27	千浜小学校	4,364	1,076	9,688	4,800	-4,888	49.5
28	大坂小学校	3,060	755	6,793	4,200	-2,593	61.8
29	大浜中学校	5,203	1,283	11,551	4,200	-7,351	36.4
30	大東北公民館	950	234	2,109	2,650	541	125.6
31	土方小学校	1,185	292	2,631	4,650	2,019	176.8
32	城東中学校	1,172	289	2,602	3,000	398	115.3
33	佐東小学校	3,051	753	6,773	3,500	-3,273	51.7
34	中小学校	2,233	551	4,957	3,100	-1,857	62.5
35	横須賀高校	1,959	483	4,349	0	-4,349	0.0
36	大須賀中学校	2,022	499	4,489	3,800	-689	84.7
37	横須賀小学校	1,362	336	3,024	2,100	-924	69.5
38	大淵小学校	1,805	445	4,007	1,650	-2,357	41.2
39	大淵農村環境改善センター(アイク)	1,777	438	3,945	2,150	-1,795	54.5
40	大須賀中央公民館	1,012	250	2,247	2,000	-247	89.0
41	三五教	2,063	509	4,580	1,750	-2,830	38.2
42	南体育館	2,050	506	4,551	2,500	-2,051	54.9

## &lt;支部以外の備蓄施設&gt;

東山口小学校				200		
千浜農村環境改善センター				3,900		
三の丸倉庫・大東支所・大須賀支所				50,200		

合計		120,744	29,784	268,056	207,850	-60,206	77.5
----	--	---------	--------	---------	---------	---------	------

※1 避難所避難者総数29,784人を、各地区人口の全市に対する比率で乗じた、監査委員事務局で想定した各避難所の避難者数

※2 想定避難者数×3食×3日

※3 平成28年4月現在、各避難所等における備蓄されている食料数

※4 各避難所の食料備蓄数に対し、想定避難者数から想定される必要食料数より不足(余剰)が見込まれる食料数

※5 備蓄充足率(F)＝食料備蓄数(D)÷想定避難者が必要とする食料数(C)

○ 合計欄の備蓄充足率77.5%以下の広域避難所を網掛けして示した。

○ 各数値を四捨五入しているため、合計とは一致しない場合がある。

(別表3) 災害用トイレに関する検討資料

No.	広域避難所名 (支部)	地区人口	避難所避難者 想定数 (※1)	簡易トイレ	ポータブル トイレ	ワンタッチ トイレA型	(ベンクイック) 組立トイレ	車椅子対応型 トイレ	仮設トイレ	簡易トイレセット (ブルマル)	合計	避難所への 必要数 (※2)	避難所への必要数 に対する充足率
	(単位)	人	人										%

## &lt;災害対策支部&gt;

1	第一小学校	1,673	413	3							3	9	33.3
2	掛川市総合福祉センター	1,097	271	6台							6	6	100.0
3	掛川西高校	2,263	558	8台							8	12	66.7
4	中央小学校	2,256	556	6箱									12
5	西中学校	6,143	1,515	9	1						10	31	32.3
6	掛川東高校	5,408	1,334								0	27	0.0
7	掛川工業高校	6,577	1,622	8							8	33	24.2
8	第二小学校	3,265	805	6台							6	17	35.3
9	東中学校	7,049	1,739	8		2					10	35	28.6
10	城北小学校	5,904	1,456	4箱									30
11	北中学校	5,252	1,296	8台							8	26	30.8
12	上内田小学校	2,364	583	6台							6	12	50.0
13	西山口小学校	2,497	616	5箱									13
14	栄川中学校	2,925	722	9個							9	15	60.0
15	日坂小学校	1,172	289	4台							4	6	66.7
16	東山地域生涯学習センター	500	123								0	3	0.0
17	倉真小学校	1,708	421								0	9	0.0
18	西郷小学校	2,970	733								0	15	0.0
19	さくら咲く学校	578	143	6台							6	3	200.0
20	原田小学校	1,060	261	6台							6	6	100.0
21	原野谷中学校	708	175	6							6	4	150.0
22	原谷小学校	4,087	1,008	3箱									21
23	桜が丘中学校	5,751	1,419	10							10	29	34.5
24	桜木小学校	5,695	1,405	6台							6	29	20.7
25	和田岡小学校	3,174	783	4箱	1								16
26	曾我小学校	3,400	839	6台							6	17	35.3
27	千浜小学校	4,364	1,076	40			3				43	22	195.5
28	大坂小学校	3,060	755	40			3				43	16	268.8
29	大浜中学校	5,203	1,283	30台							30	26	115.4
30	大東北公民館	950	234	17			1	1			19	5	380.0
31	土方小学校	1,185	292	40			2				42	6	700.0
32	城東中学校	1,172	289	30							30	6	500.0
33	佐東小学校	3,051	753	40			2	1			43	16	268.8
34	中小学校	2,233	551				2個	1個			3	12	25.0
35	横須賀高校	1,959	483			9基	1基				10	10	100.0
36	大須賀中学校	2,022	499			9	1				10	10	100.0
37	横須賀小学校	1,362	336			3	3				6	7	85.7
38	大淵小学校	1,805	445	1		1	3			1	6	9	66.7
39	大淵農村環境改善センター(アイク)	1,777	438			3	3				6	9	66.7
40	大須賀中央公民館	1,012	250	5					2		7	5	140.0
41	三五教	2,063	509			3	3				6	11	54.5
42	南体育館	2,050	506	6							6	11	54.5

## &lt;支部以外の備蓄施設&gt;

千浜改善センター			15			1					16		
大東保健センター			3箱										
三の丸倉庫・大東支所・大須賀支所											185		

合計	120,744	29,784	404	1	31	28	3	2	1	654	617	106.0
----	---------	--------	-----	---	----	----	---	---	---	-----	-----	-------

※1 避難所避難者総数29,784人を、各管内人口の全市に対する比率で乗じた、監査委員事務局で想定した各避難所の避難者数

※2 トイレの必要数：避難者50人あたり1基（内閣府「避難所におけるトイレの確保・管理ガイドライン」より）に基づき、  
避難所避難者想定数÷50（端数切り上げ）で算定

- 各広域避難所保管数は、平成28年3月末現在。合計数 654台は危機管理課資料による。
- 備蓄充足率 100%以下の広域避難所を網掛けして示した。資機材点検表の単位が未記載の場合、表中の単位は空欄とした。  
また、単位が箱数の場合は台数が不明なため、合計欄・充足率は空欄とした。
- 各数値を四捨五入しているため、合計とは一致しない場合がある。

(別表4) 簡易トイレ用袋に関する検討資料

No.	広域避難所名 (支部)	地区人口	避難所避難者 想定数 ※1)	簡易トイレ用 袋セット	トイレ処理 セット	汚物処理袋	簡易トイレ用 汚物袋	合計	目標枚数に対し 避難所で必要と する数 ※2)	目標枚数に対する 現在の充足率
	(単位)	人	人	枚	回分	箱			枚	%

## &lt;災害対策支部&gt;

1	第一小学校	1,673	413	500				500	2,971	16.8
2	掛川市総合福祉センター	1,097	271	500				500	1,948	25.7
3	掛川西高校	2,263	558	500				500	4,019	12.4
4	中央小学校	2,256	556	500				500	4,007	12.5
5	西中学校	6,143	1,515	500				500	10,910	4.6
6	掛川東高校	5,408	1,334	500	360			860	9,605	9.0
7	掛川工業高校	6,577	1,622					0	11,681	0.0
8	第二小学校	3,265	805	800				800	5,799	13.8
9	東中学校	7,049	1,739	500				500	12,519	4.0
10	城北小学校	5,904	1,456	500				500	10,486	4.8
11	北中学校	5,252	1,296	500		5			9,328	
12	上内田小学校	2,364	583	500				500	4,199	11.9
13	西山口小学校	2,497	616	500			30 セット		4,435	
14	栄川中学校	2,925	722	500				500	5,195	9.6
15	日坂小学校	1,172	289	500				500	2,082	24.0
16	東山地域生涯学習センター	500	123	500				500	888	56.3
17	倉真小学校	1,708	421	500				500	3,033	16.5
18	西郷小学校	2,970	733	500				500	5,275	9.5
19	さくら咲く学校	578	143	500			5 箱		1,027	
20	原田小学校	1,060	261	500				500	1,883	26.6
21	原野谷中学校	708	175	500				500	1,257	39.8
22	原谷小学校	4,087	1,008	500				500	7,259	6.9
23	桜が丘中学校	5,751	1,419				5 箱		10,214	
24	桜木小学校	5,695	1,405	500				500	10,114	4.9
25	和田岡小学校	3,174	783	500				500	5,637	8.9
26	曾我小学校	3,400	839	500				500	6,038	8.3
27	千浜小学校	4,364	1,076	500				500	7,751	6.5
28	大坂小学校	3,060	755	500				500	5,435	9.2
29	大浜中学校	5,203	1,283	500				500	9,241	5.4
30	大東北公民館	950	234	500				500	1,687	29.6
31	土方小学校	1,185	292	500				500	2,105	23.8
32	城東中学校	1,172	289	500				500	2,082	24.0
33	佐東小学校	3,051	753	500				500	5,419	9.2
34	中小学校	2,233	551	500			240 枚	740	3,966	18.7
35	横須賀高校	1,959	483			5			3,479	
36	大須賀中学校	2,022	499	500				500	3,591	13.9
37	横須賀小学校	1,362	336	500		15			2,419	
38	大淵小学校	1,805	445	500				500	3,206	15.6
39	大淵農村環境改善センター(アイク)	1,777	438			15			3,156	
40	大須賀中央公民館	1,012	250	500				500	1,797	27.8
41	三五教	2,063	509	800		15			3,664	
42	南体育館	2,050	506				21 セット		3,641	

## &lt;支部以外の備蓄施設&gt;

三の丸倉庫・大東支所・大須賀支所										—
合計	120,744	29,784	19,100	360	55	301	64,400	214,500	30.0	

※1 避難所避難者総数29,784人を、各管内人口の全市に対する比率で乗じた、監査委員事務局で想定した各避難所の避難者数

※2 簡易トイレ用袋の必要数：1人あたりトイレ1日6回÷袋1枚あたり使用回数2.5枚×3日分=1人あたり7.2枚に基づき、避難所避難者想定数×7.2(端数切り上げ)で算定

○ 各広域避難所保管数は、平成28年3月末現在。合計数 64,400枚は危機管理課資料による。

備蓄充足率30%以下の広域避難所を網掛けして示したが、単位が箱・セット数の場合は、枚数が不明なため合計欄・充足率は空欄とした。

○ 各数値を四捨五入しているため、合計とは一致しない場合がある。



(別表5) 備蓄毛布に関する検討資料

No.	広域避難所名 (支部)	(A) 地区人口	(B) 避難所 避難者 想定数 (※1)	(C) 想定避難者 が必要と する毛布数 (※2)	(D) 毛布備蓄数 (※3)	(E) (D)-(C) (※4)	(G) 備品充足率 (※5)
	(単位)	人	人	枚	枚	枚	

## &lt;災害対策支部&gt;

1	第一小学校	1,673	413	826	210	-616	25.4
2	掛川市総合福祉センター	1,097	271	542	20	-522	3.7
3	掛川西高校	2,263	558	1,116	300	-816	26.9
4	中央小学校	2,256	556	1,112	500	-612	45.0
5	西中学校	6,143	1,515	3,030	564	-2,466	18.6
6	掛川東高校	5,408	1,334	2,668	550	-2,118	20.6
7	掛川工業高校	6,577	1,622	3,244	120	-3,124	3.7
8	第二小学校	3,265	805	1,610	20	-1,590	1.2
9	東中学校(※7)	7,049	1,739	3,478	0	-3,478	0.0
10	城北小学校	5,904	1,456	2,912	850	-2,062	29.2
11	北中学校	5,252	1,296	2,592	420	-2,172	16.2
12	上内田小学校	2,364	583	1,166	270	-896	23.2
13	西山口小学校	2,497	616	1,232	410	-822	33.3
14	栄川中学校	2,925	722	1,444	620	-824	42.9
15	日坂小学校	1,172	289	578	110	-468	19.0
16	東山地域生涯学習センター	500	123	246	245	-1	99.6
17	倉真小学校	1,708	421	842	210	-632	24.9
18	西郷小学校	2,970	733	1,466	310	-1,156	21.1
19	さくら咲く学校	578	143	286	270	-16	94.4
20	原田小学校	1,060	261	522	350	-172	67.0
21	原野谷中学校	708	175	350	360	10	102.9
22	原谷小学校	4,087	1,008	2,016	250	-1,766	12.4
23	桜が丘中学校	5,751	1,419	2,838	860	-1,978	30.3
24	桜木小学校	5,695	1,405	2,810	730	-2,080	26.0
25	和田岡小学校	3,174	783	1,566	410	-1,156	26.2
26	曾我小学校	3,400	839	1,678	360	-1,318	21.5
27	千浜小学校	4,364	1,076	2,152	540	-1,612	25.1
28	大坂小学校	3,060	755	1,510	300	-1,210	19.9
29	大浜中学校	5,203	1,283	2,566	540	-2,026	21.0
30	大東北公民館	950	234	468	300	-168	64.1
31	土方小学校	1,185	292	584	540	-44	92.5
32	城東中学校	1,172	289	578	310	-268	53.6
33	佐東小学校	3,051	753	1,506	200	-1,306	13.3
34	中小学校	2,233	551	1,102	440	-662	39.9
35	横須賀高校	1,959	483	966	50	-916	5.2
36	大須賀中学校	2,022	499	998	500	-498	50.1
37	横須賀小学校	1,362	336	672	540	-132	80.4
38	大淵小学校	1,805	445	890	540	-350	60.7
39	大淵農村環境改善センター(アイク)	1,777	438	876	110	-766	12.6
40	大須賀中央公民館	1,012	250	500	150	-350	30.0
41	三五教	2,063	509	1,018	160	-858	15.7
42	南体育館	2,050	506	1,012	600	-412	59.3

## &lt;支部以外の備蓄施設&gt;

大東保健センター(救護所)					52		
千浜農村環境改善センター					558		
三の丸倉庫・大東支所・大須賀支所					12,711		

合計		120,744	29,784	59,568	28,460	-31,108	47.8
----	--	---------	--------	--------	--------	---------	------

※1 避難所避難者総数29,784人を、各地区人口の全市に対する比率で乗じた、監査委員事務局で想定した各避難所の避難者数

※2 想定避難者数×2枚

※3 平成28年3月末現在、各避難所等における備蓄されている毛布数。合計数 28,460枚は危機管理課資料による。

※4 想定避難者数から想定される必要毛布数に対する、各避難所の毛布備蓄数の不足(余剰)数

※5 現在の全毛布備蓄数×(避難所避難者数÷全避難所避難者数)

※6 現在の毛布数に対し各避難所に配分されるべき毛布数と、各避難所の現在の毛布数との差。毛布配付数の不均衡度を表す。

※7 (東中学校)平成28年度の現地調査にて、新しい倉庫に毛布の備蓄を確認(数量440枚)

○ 合計欄の備蓄充足率 47.8%以下の広域避難所を網掛けして示した。

○ 各数値を四捨五入しているため、合計とは一致しない場合がある。

(別表6) 広域避難所(支部) 別防災資機材点検表一覧

広域避難所名(支部)	地区人口	(単位)	燃料タンク・ポンプ			発電機・充電器			無線	炊飯関係	ヤカン	非常食等	貯水設備	給水袋	水	浄水装置	給水設備	
			ガソリン	灯油	ガソリン・灯油	小型	非常用電源	非常用電源									無線	炊飯器
第一小学校	1,673		1		1												15	23
総合福祉センター	1,097		1		1								1000				10	23
掛川西高校	2,263		2		1												17	23
中央小学校	2,256		2		1												38	23
西中学校(☆)	6,143		1	1	1	3	2	1	3	1	7	7		2			1	22
掛川東高校	5,408		1		1												2	23
掛川工業高校(★)	6,577		4	2	2				3	1	4	1					10	23
第二小学校	3,265		1	1	1												17	23
東中学校(☆)	7,049		2	1	4												23	23
城北小学校	5,904		1	2	1	1	1	1	2	1	3						17	23
北中学校(★)	5,252		3	1	2	1	1										22	23
上内田小学校	2,364		1	1	1	1	1										17	23
西山口小学校	2,497		1	1	1	1	1	1	2	1	3						17	23
栄川中学校	2,925		2	1	2	1	1	1	3	1	4						23	23
日坂小学校	1,172		1	1	2	1	1	1	4	1	3						17	23
東山センター	500		1	1	1	1	1	1	2	1	4						15	23
倉真小学校	1,708		1	1	1	1	1	1	2	1	3						17	23
西郷小学校	2,970		1	1	1	1	1	1	2	1	3						15	23
さくら学校	578		1	2	1	1	1	1	2	1	3						16	23
原田小学校	1,060		1	1	2	1	1	1	1	1	1						18	23
原野谷中学校(★)	708		2	1	1	1	1	1	2	2	2						20	23
原谷小学校	4,087		1	1	1	1	1	1	2	1	3						17	23
桜が丘中学校(☆)	5,751		1	1	4	1	1	1	3	1	4						24	23
桜木小学校	5,695		1	1	1	1	1	1	2	1	3						16	23
和田岡小学校	3,174		1	1	1	1	1	1	1	1	1						15	23
曾我小学校	3,400		1	1	1	1	1	1	2	1	3						17	23
千浜小学校	4,364		4		2	2	1	3		1	2						23	2
大坂小学校	3,060		3	1	2	1	2	1	2		1						23	1
大浜中学校	5,203		2	1	1	1	1	1	2		2						23	2
大東北公民館(★)	950		2	1	1	1	1	4	1	3	3						200	23
土方小学校	1,185		3	1	2	1	1	1	1	1	3						23	2
城東中学校	1,172		2	2	1	2	1	2	1		1						200	23
佐東小学校	3,051		4	1	1	1	1	1	2		1						23	1
中小学校	2,233		3		2	1	1	1	3		2						23	2
横須賀高校	1,959				1	1	1	1	10		1						2	3
大須賀中学校(☆)	2,022		3		2	3	2	1	1	1	1						23	3
横須賀小学校	1,362		3		2	1	1	1	3		5						23	1
大淵小学校	1,805		3		1	1	1	1	10		2						23	1
大淵改善センター(★)	1,777		3		1	1	1	1	3		2						1	3
大須賀中央公民館	1,012		5		1	1	1	3	1	2	4						23	1
三五教	2,063		3		2	1	3	1	3		8						3	2
南体育館	2,050		1		1	2	1	2	1	5							15	1

(☆)初動時救護所 1)平成28年3月末現在の広域避難所(支部)ごとの資機材点検表を一覧表にした。  
 (★)追加設置救護所 2)資機材点検表の名称・規格・単位等の基準や作成方法が示されていないため、同じ資機材の欄に入っているも機能・規模等が同じか確認していない。資機材点検表の単位が空欄になっているものもあり、代表的な単位を記載した。  
 3)燃料タンクが灯油用なのか、ガソリン用なのか不明な場合などは、表内の破線を消して表示した。  
 4)初動時救護所、追加設置救護所活動において医師が使う資機材関係は記載していない。



(別表 7) 学校等の施設内への資機材・食料等の保管状況

No.	名称	保管場所	保管物資
1	第一小学校	校舎 1 階用度室	簡易トイレ用袋セット、飲料水、避難所用敷マット
2	掛川市総合福祉センター	体育館器具庫	簡易トイレ用袋セット、飲料水、避難所用敷マット
3	掛川西高校	冀北会館 1 階第 2 研修室	非常用食料、飲料水、簡易トイレ用袋セット、避難所用敷マット、毛布 (280枚)
4	中央小学校	北校舎南側調理場、更衣室	非常用食料、飲料水、簡易トイレ用袋セット、避難所用敷マット、災害用簡易トイレ (3 箱)
5	西中学校		
6	掛川東高校	体育館天井スペース	毛布、非常食、宇宙食、トイレ処理セット、簡易トイレ用袋セット、避難所用敷マット
7	掛川工業高校	体育館ステージ北側地下倉庫	簡易トイレ用袋セット、避難所用敷マット
8	第二小学校	体育館更衣室、用具庫	毛布、非常食、簡易トイレ用袋セット、飲料水、避難所用敷マット
9	東中学校	校舎音楽室	応急危険度判定土グッズ、非常食、避難所衛生用品、簡易トイレ用袋セット、飲料水、避難所用敷マット
10	城北小学校	体育館、音楽室	非常食、簡易トイレ (2 箱)、収納袋、簡易トイレ用袋セット、飲料水、避難所用敷マット
11	北中学校	校舎 2 階防災用品保管室	非常食、簡易トイレ用袋セット、飲料水、避難所用敷マット
12	上内田小学校	校舎北側西倉庫	発電機 (1 台)、簡易トイレ用袋セット、飲料水、避難所用敷マット
13	西山口小学校	体育館倉庫、校舎階段下倉庫	毛布、非常食、簡易トイレ、簡易トイレ汚物袋、簡易トイレ用袋セット、飲料水、避難所用敷マット
14	栄川中学校	体育館器具庫	発電機 (1 台)、簡易トイレ用袋セット、飲料水、避難所用敷マット
15	日坂小学校	校舎 3 階教材室	非常食、簡易トイレ用袋セット、飲料水、避難所用敷マット
16	東山地域生涯学習センター		
17	倉真小学校	体育館ステージ横	簡易トイレ用袋セット、飲料水、避難所用敷マット
18	西郷小学校	体育館器具庫	簡易トイレ用袋セット、飲料水、避難所用敷マット
19	さくら咲く学校	体育館ステージ横	簡易トイレ用袋セット、飲料水、避難所用敷マット

20	原田小学校	学校内倉庫、体育館屋外北側雑庫	毛布、非常食、簡易トイレ用袋セット、飲料水、避難所用敷マット
21	原野谷中学校	体育館南側多目的室	簡易トイレ用袋セット、飲料水、避難所用敷マット
22	原谷小学校	新館多目的ホール内	毛布、非常食、簡易トイレ用袋セット、飲料水、避難所用敷マット
23	桜が丘中学校	校舎1階 第2音楽室、体育館	発電機、毛布、非常食、飲料水、避難所用敷マット
24	桜木小学校	校舎1階シャッター庫、旧用務員室	非常食、簡易トイレ用袋セット、飲料水、避難所用敷マット
25	和田岡小学校	体育館 ステージ北側雑庫	毛布、非常食、簡易トイレ用袋セット、飲料水、避難所用敷マット
26	曾我小学校	体育館ステージ南側器具庫	簡易トイレ用袋セット、飲料水、避難所用敷マット
27	千浜小学校	体育館ステージ側2階	毛布、非常食、簡易トイレ用袋セット、飲料水、避難所用敷マット
28	大坂小学校	体育館2階スペース	簡易トイレ用袋セット、飲料水、避難所用敷マット
29	大浜中学校	校舎3階、4階、体育館1階器具庫	毛布、非常食、簡易トイレ用袋セット、飲料水、避難所用敷マット
30	大東北公民館	2階集会室、東倉庫	毛布、簡易ベッド、テント、シェイキングフラッシュライト、消火用バケツ、水使用懐中電灯、非常食、簡易トイレ用袋セット、飲料水、避難所用敷マット
31	土方小学校	校舎2階休憩室	毛布、非常食、簡易トイレ用袋セット、飲料水、避難所用敷マット
32	城東中学校	被服室、調理室、和室	毛布、非常食、簡易トイレ用袋セット、飲料水
33	佐束小学校	体育館2階スペース	簡易トイレ用袋セット、飲料水、避難所用敷マット
34	中小学校	校舎西館、体育館2階スペース	毛布、簡易トイレ用汚物袋、非常食、簡易トイレ用袋セット、飲料水、避難所用敷マット
35	横須賀高校	体育館2階器具庫	避難所用敷マット
36	大須賀中学校	体育館1階男子更衣室	飲料水、避難所用敷マット
37	横須賀小学校	北校舎3階音楽室	非常食、飲料水、避難所用敷マット
38	大淵小学校	校舎2階備蓄食料室	毛布、非常食、簡易トイレ用袋セット、飲料水、避難所用敷マット
39	大淵農村環境改善センター(アイク)	調理室、体育館ステージ下	非常食、避難所用敷マット
40	大須賀中央公民館	南東屋外階段2階屋外倉庫	毛布、非常食、簡易トイレ用袋セット、飲料水、避難所用敷マット
41	三五教(2庫)		
42	南体育館	屋内防災倉庫	非常食

※ 危機管理課提出の各支部防災資機材点検表による。

## 【参考】

### 1 静岡県第4次地震被害想定（平成25年6月、11月発表）

平成23年3月に発生した東日本大震災の教訓を踏まえ、従来のレベル1の地震・津波を超えるレベル2の地震・津波を想定し、静岡県で被害想定を策定。あらかじめ想定し、今後の地震・津波対策の基礎資料として活用することを目的としている。

#### (1) 地震被害想定

レベル1の地震・津波 発生頻度は比較的高く（駿河・南海トラフでは約100～150年に1回）、発生すれば大きな被害をもたらす地震・津波  
 レベル2の地震・津波 発生頻度は極めて低いが、発生すれば甚大な被害をもたらす、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震・津波

想定対象とした地震・津波

区分	駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生する地震	相模トラフ沿いで発生する地震
レベル1の地震・津波	東海地震 東海・東南海地震 東海・東南海・南海地震 (マグニチュード8.0～8.7)	大正型関東地震 (マグニチュード8.0程度)
レベル2の地震・津波	南海トラフ巨大地震 (マグニチュード9)	元禄型関東地震(※) (マグニチュード8.2程度)

※詳細は、静岡県ホームページ（組織別情報、危機管理部、危機管理部危機政策課）でご覧頂けます。

### 2 掛川市地震・津波対策アクションプログラム2014（平成26年3月策定）

「静岡県第4次地震被害想定」の発表を受け、死亡者ゼロを目指すため、78のアクションプランと、計画期間である平成34年度までの目標数値を定めている。

### 3 掛川市国土強靱化地域計画（平成28年2月策定）

平成25年12月に「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法」が公布され、平成27年4月に県は、「静岡県国土強靱化地域計画」を策定。市の施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、防災先進都市として、県内市町で最初の国土強靱化地域計画を策定した。

#### 4 掛川市地域防災計画（平成 28 年 1 月改定）

掛川市民の生命、身体及び財産を災害から保護し、災害時における社会秩序の維持と公共の福祉の確保を図るため、災害対策基本法第42条の規定に基づき、「掛川市地域防災計画」が作成され、毎年改定されている。この計画は、「地震対策編」、「一般対策編」、「津波対策編」、「原子力対策編」の4編からなり、平常時からの対策や発災後における活動、復旧・復興対策の多岐に渡っており、「掛川市国土強靱化地域計画」における推進方針を踏まえたものとなっている。

※ 2～4 の計画詳細は、掛川市ホームページの中（市民の皆様、防災、防災体制）でご覧頂けます。

#### 5 海岸防災林強化事業「掛川モデル」基本計画（平成 28 年 2 月策定）

レベル 2 の津波に対応した防潮堤を整備するため、市民や企業との協働、国や県などと連携・協力により次代を担う若者や子ども達たちが集う「掛川潮騒の杜」づくりを推進するため、策定した。

計画の主な内容は参考資料 2（23 頁）の通り。

※詳細は、掛川市ホームページの中（市民の皆様、防災、防災施設）でご覧頂けます。

## (参考資料1)

## 広域避難所一覧（地域防災計画資料編より）

（平成27年3月現在）

No.	広域避難所名（支部）	地区名	併設	地区人口
1	第一小学校	仁藤町、肴町、塩町、喜町、新町、大手町、松尾町、城内		1,673
2	掛川市総合福祉センター	旭町、六軒町、神明町、道神町		1,097
3	掛川西高校	栄町、紺屋町、中町、緑町、連雀、瓦町、城西		2,263
4	中央小学校	研屋町、西町、十王町、下俣町、中央1・2・3丁目		2,256
5	西中学校	十九首、小鷹町、長谷、二瀬川、上屋敷、七日町、中央高町	初動時 救護所	6,143
6	掛川東高校	下俣、久保、亀の甲、神代地、結縁寺、県営団地		5,408
7	掛川工業高校	杉谷、杉谷南、上張、矢崎、葵町、新道、緑ヶ丘第一・第二、青葉台	追加設置 救護所	6,577
8	第二小学校	秋葉通り、鳥居町、橘町、末広町、秋葉路		3,265
9	東中学校	宮脇、葛川、葛ヶ丘、旭ヶ丘	初動時 救護所	7,049
10	城北小学校	城北町、下西郷、下西郷西、北門、弥生町、水垂		5,904
11	北中学校	小市、方の橋、初馬	追加設置 救護所	5,252
12	上内田小学校	桶田、五百済、段金谷、下板沢、和田、上板沢、子隣、岩井寺、大谷、城山		2,364
13	西山口小学校	成滝、菌ヶ谷、満水、金城		2,497
14	栄川中学校	宮村、海老名、影森、塩井川原、寺ヶ谷、伊達方、新田、本所、原子、木割、千羽、山鼻、池下、牛頭	追加設置 救護所	2,925
15	日坂小学校	古宮、下町、本町、川向、中山、御林、大野中上、大野下、大鹿、杓掛		1,172
16	東山地域生涯学習センター	東山1班、2班、3班、4班		500
17	倉真小学校	倉真1区、2区、3区、4区、5区、6区、7区		1,708
18	西郷小学校	構江、石畑、石ヶ谷、美人ヶ谷、滝ノ谷、長間、五明、花屋敷		2,970
19	さくら咲く学校	大和田、孕丹、萩間、居尻、泉		578
20	原田小学校	平島、久居島、高山、栃原、正道、中西之谷、上西之谷、田代・柚葉、明ヶ島		1,060
21	原野谷中学校	寺島、桑地	追加設置 救護所	708
22	原谷小学校	本郷西、本郷東、本郷南、細谷、幡鎌、西山、サングリーン		4,087



23	桜が丘中学校	富部、森平、遊家・家代、家代の里	初動時 救護所	5,751
24	桜木小学校	上垂木区、宮中、小山平、桜野団地、鰯原、飛鳥、新田、田中、下垂木2区、下垂木3区、下垂木南区		5,695
25	和田岡小学校	吉岡、高田、各和、つくし野、吉岡団地		3,174
26	曾我小学校	細沢、岡津、原川、徳泉、領家、高御所、篠場、平野、梅橋		3,400
27	千浜小学校	千浜東、千浜西、国浜		4,364
28	大坂小学校	三井、東大坂		3,060
29	大浜中学校	三浜、浜野（一部）、大坂（一部）		5,203
30	大東北公民館	下土方(畑ヶ谷、下中、川久保)	追加設置 救護所	950
31	土方小学校	上土方（入山瀬、落合、今滝）		1,185
32	城東中学校	土方（嶺向、下北、大坪台）		1,172
33	佐東小学校	中方、岩滑、高瀬、小貫		3,051
34	中小学校	睦三、中		2,233
35	横須賀高校	軍全町、沢上町、東本町、中本町、西本町、川原崎、雇用促進第1、今沢		1,959
36	大須賀中学校	大谷町、汐見ヶ丘、柏平、西大谷、十六軒町、川原町、新屋町	初動時 救護所	2,022
37	横須賀小学校	東番町、中番町、西番町、南番町、西大淵		1,362
38	大淵小学校	浜、岡原、中新井		1,805
39	大淵農村環境改善センター (アイク)	雨垂、東大谷、野中、藤塚	追加設置 救護所	1,777
40	大須賀中央公民館	沖之須		1,012
41	三五教	石津、清ヶ谷、本谷、小谷田、横砂、松尾町、東田町、西田町、大工町、城前団地、西新町、東新町		2,063
42	南体育館	浜野（一部）、大坂（一部）、新井、野賀		2,050

No.	救護所のみ	内容	位置づけ
1	大東保健センター	救護所の開設	初動時救護所
2	千浜農村環境改善センター	追加設置救護所として開設	追加設置救護所

No.	福祉避難所	内容
1	たまりーな (22世紀の丘公園)	災害数日後に開設される二次的避難所。必要性の高い要配慮者から移動。
2	静岡県総合教育センター (あすなる)	

※福祉避難所は、県立掛川特別支援学校や市内の介護施設等と協定し、監査日現在42施設となっている。

## (参考資料 2) 掛川モデル基本計画書より (抜粋)

### 3-1 計画期間

次のとおり、計画期間と中間目標を定めます。

この計画は、第2次掛川市総合計画や掛川市地域創生総合戦略、掛川市国土強靱化地域計画に位置付け、整備を推進します。

<b>計画期間</b>	平成 26 年度より概ね 15 年間	
<b>中間目標</b>	<b>中間年次</b>	<b>進捗率</b>
	平成 31 年度末	40%
	平成 37 年度末	80%

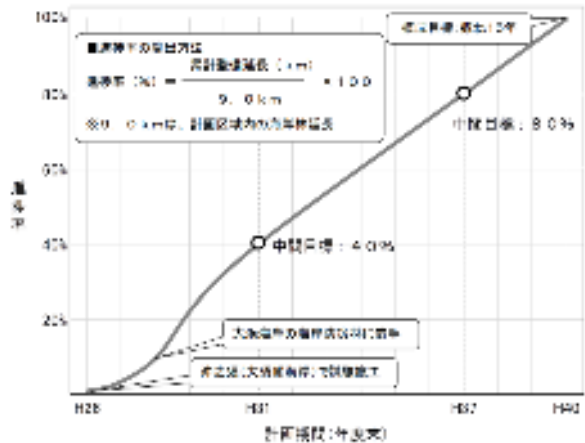
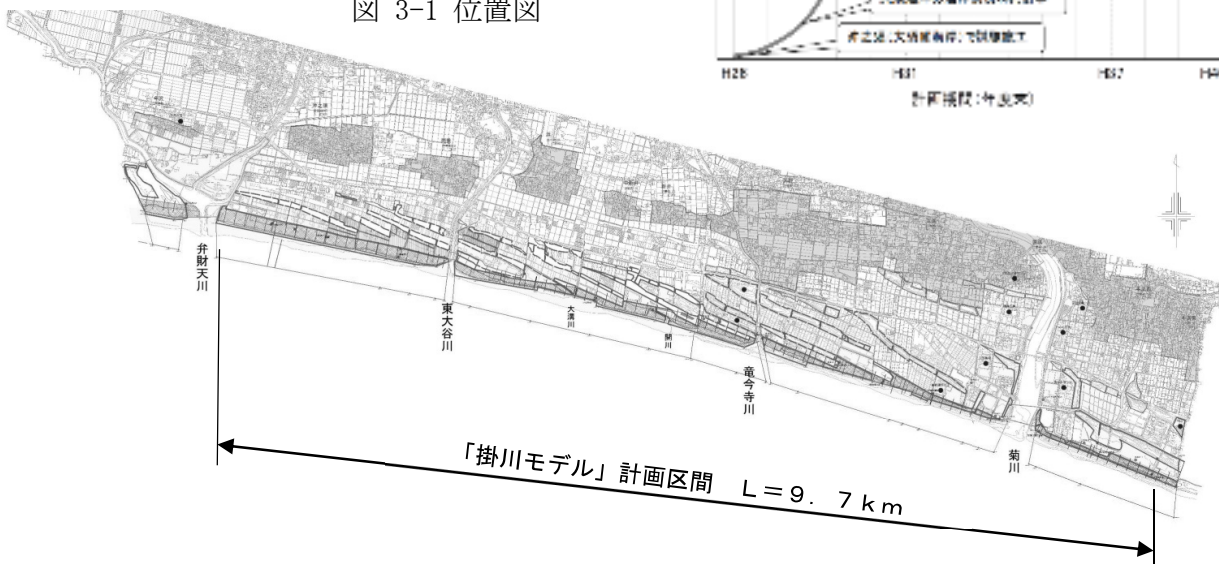


図 3-1 位置図



### 3-2 整備計画

レベル2津波に対応した防潮堤を築堤するため、想定しうる最大クラスの津波高に地殻変動量と防潮堤に衝突した際のせり上がりの高さ、そして余裕高を加えた高さまで既存の海岸林を盛土により嵩上げします。

津波による侵食を考慮して、天端の幅は25mを標準とします。

海側の法勾配は3割（約18度）を標準とします。陸側も3割（約18度）を標準としますが、背後地に窪地ができて水が溜まらないように勾配を調整します。

植栽する樹木の根が十分な深さまで張るように、厚さ2mの生育基盤盛土を行います。

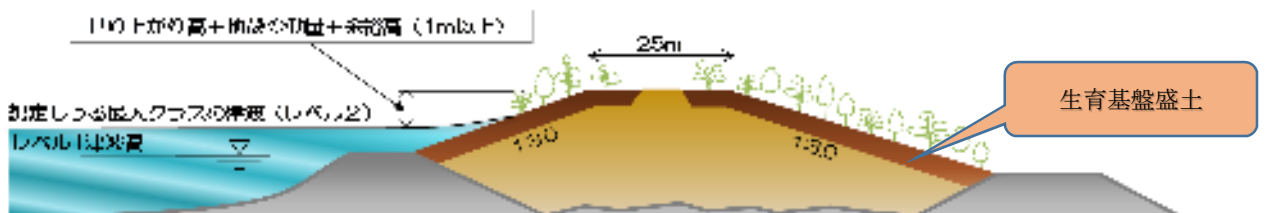


図 3-2 盛土標準断面

### 3-3 整備パターン

#### 3-3-1 整備パターンの分類

海岸林(県有地)の幅・背後地の条件により、「掛川モデル」は標準として以下の4つの整備パターンに分類されます。

##### (1) パターンA

海岸林(県有地)の幅が広く、その中で盛土するパターンです。  
海岸線の50%を占めており、優先的に整備を行います。

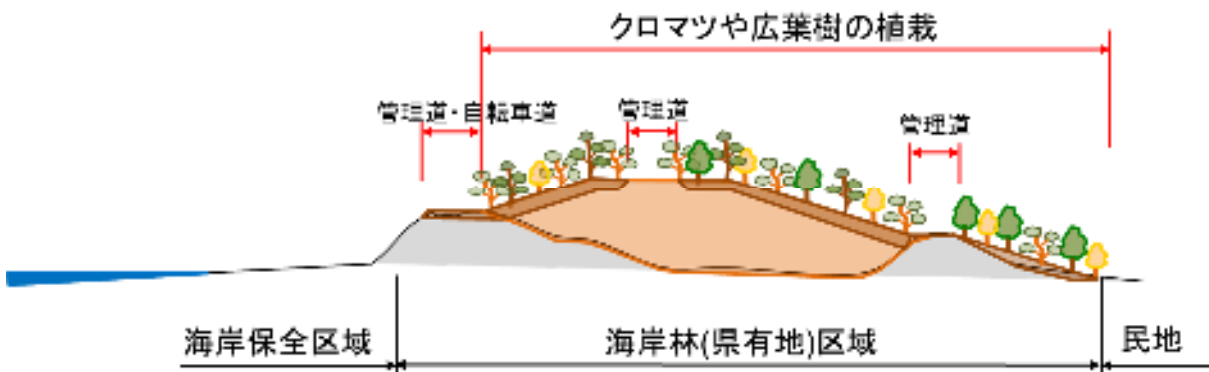


図 3-3 整備パターンA

##### (2) パターンB

海岸林(県有地)の幅が狭く、盛土を行った場合に背後地の農地等の民地に影響が生じるパターンです。

海岸林(県有地)と同時に、背後地も盛土し、植樹を行い保安林に転換することが必要です。  
海岸線の約40%を占めており、パターンAの次に優先的に整備を行います。

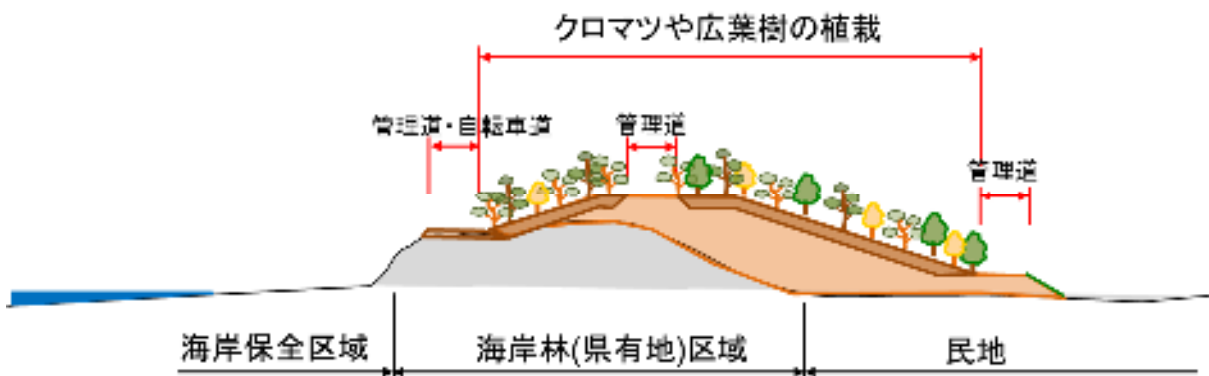


図 3-4 整備パターンB

### (3) パターンC

海岸林(県有地)の幅が狭く、背後地に風力発電施設などの工作物があるパターンです。

ノコギリの刃のような形をした斜め海岸林の特徴が顕著である大浜海岸において、海岸林の幅が狭くなっている箇所に見られます。工作物を移動することはできないので、工作物管理者と協議の上、構造物等を設置しながら盛土を行うことが必要です。

適用箇所は、大浜海岸の工作物が近接する一部区間のみです。

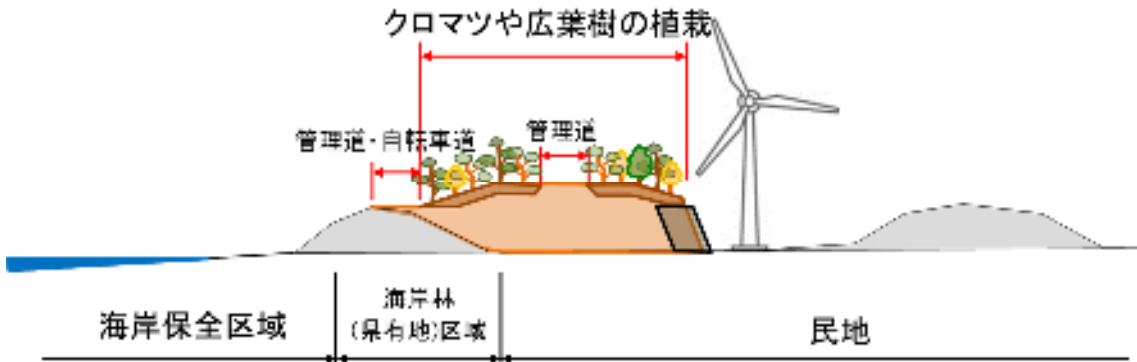


図 3-5 整備パターンC

### (4) パターンD

パターンCと同じく海岸林(県有地)の幅が狭く、背後地に工場等の建物が近接するパターンです。

工場等の建物を移転することはできないので、建物管理者と協議の上、構造物等を設置しながら盛土を行うことが必要です。必要に応じて、海側にも構造物の設置を検討します。

大浜海岸で見られ、海岸線の約10%を占めます。

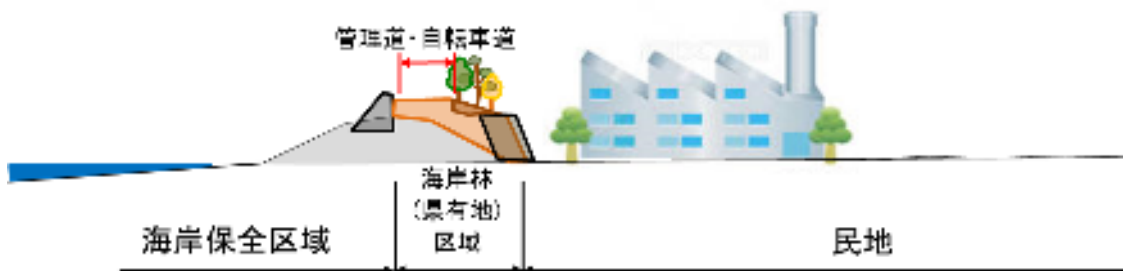


図 3-6 整備パターンD

### 3-3-2 整備パターンの配置とその影響

#### (1) 整備にあたり把握すべき現況、課題及び対応策の整理

掛川モデルの整備にあたり、以下の項目について海岸別に整理します。

- ① 4つの整備パターンを、海岸林(県有地)の幅・背後地の条件を踏まえて配置
- ② 整備により影響が予想される施設等と対応策

#### (2) 大浜海岸

- ・菊川以東は海岸林(県有地)の幅が狭く盛土に必要な用地幅は不足しますが、隣接建築物等は少ないため、パターンBが主体となります。
- ・菊川以西は工場等の建物及び風力発電施設等の工作物が隣接する箇所があるなど、パターンA～Dが混在します。

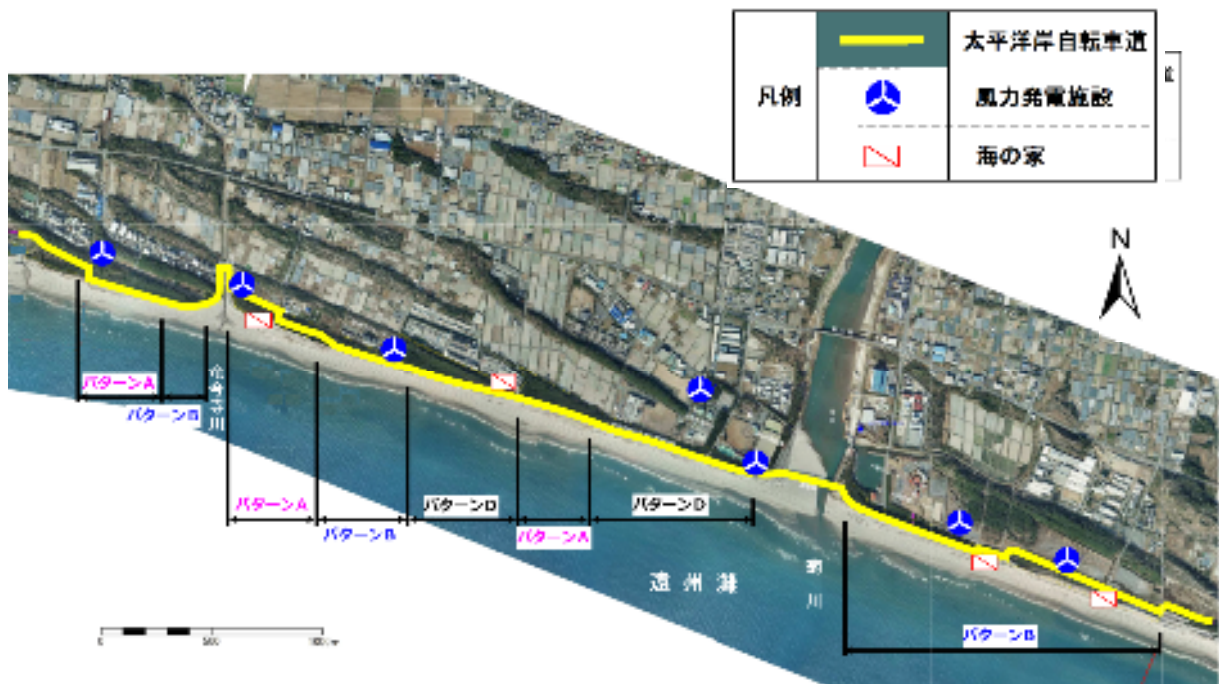


図 3-7 大浜海岸における整備パターンの配置

※パターンCは部分的なため、図示していない。

表 3-1 整備による影響が予想される施設等と対応策

影響が予想される施設等	対応策
太平洋岸自転車道	・多くは海岸沿いを走行しているが、一部、海岸林の中を走行。管理する静岡県と付け替え等を協議。
海岸林を南北に横断する通路 10箇所	・車両が通行可能な4箇所は、スロープを設置。一般車両の通行は規制。歩行者用通路は、階段を設置し利便性を向上。
海の家 4箇所	・浜野海の家は、整備の影響を受けないため存続。残りの3箇所は再配置又は廃止を検討。
隣接する大規模施設(工場、風力発電施設等)	・盛土が施設に影響しないように構造物の設置等を検討。
菊川以東の飛砂	・砂の移動が多いため、堆砂に関する対策を検討。



### (3) 大須賀海岸

- ・ 東大谷川以東は、海岸林(県有地)の幅が狭く必要な用地幅は不足しますが、隣接建築物等はなく、パターンBが主体となります。
- ・ 東大谷川以西は、海岸林(県有地)の幅が広く用地幅を制約する要素もないため、パターンAが主体となります。



図 3-8 大須賀海岸における整備パターンの配置

表 3-2 海岸防災林整備による影響が予想される施設等と対応策

影響が予想される施設等	対応策
太平洋岸自転車道	・ 多くは海岸沿いを走行しているが、一部、海岸林の中を走行。管理する静岡県と付け替え等を協議。
南北通路 10 本	・ できる限り統廃合を検討。車両が通行可能な箇所はスロープを、歩行者用通路は階段を設置。
河川	・ 開川、大溝川の津波対策（水門等）と連携した整備を検討。
防火水槽	・ 延焼防止のため適所へ移設。
農業用水路	・ 営農継続のため適所へ移設。
大溝川以東での飛砂	・ 砂の移動が多いため、堆砂に関する対策を検討。

### (4) 太平洋岸自転車道

- ・ 海岸線沿いを走行する自転車道は、平常時のサイクリングや地域の方々の散歩など海岸林と一体的な観光・交流資源となるように、管理する静岡県と協議を行い、整備することが必要です。
- ・ 沿道の観光施設案内など、ハードとソフトの両面からサイクリングを盛り上げていくことが必要です。

静岡県第4次地震被害想定におけるレベル2の地震による想定

(3) 津波高（レベル2）

表 2-4 主な場所の津波高

場所	津波高	備考
御前崎市境付近	12.93m	
千浜東海の家付近	13.20m	市内最大値
菊川河口付近	11.03m	
浄化センター南付近	12.19m	
竜今寺川河口付近	12.15m	
開川河口付近	10.93m	
大溝川河口付近	9.95m	
東大谷川河口付近	10.02m	
沖之須南	8.67m	
弁財天川河口付近	8.30m	
袋井市境付近	8.92m	

H24.8.29 発表

出典：掛川市 HP（南海トラフの巨大地震による津波高・浸水域等について）

(4) 浸水域・浸水深（レベル2）

表 2-5 町丁字別の浸水域・浸水深

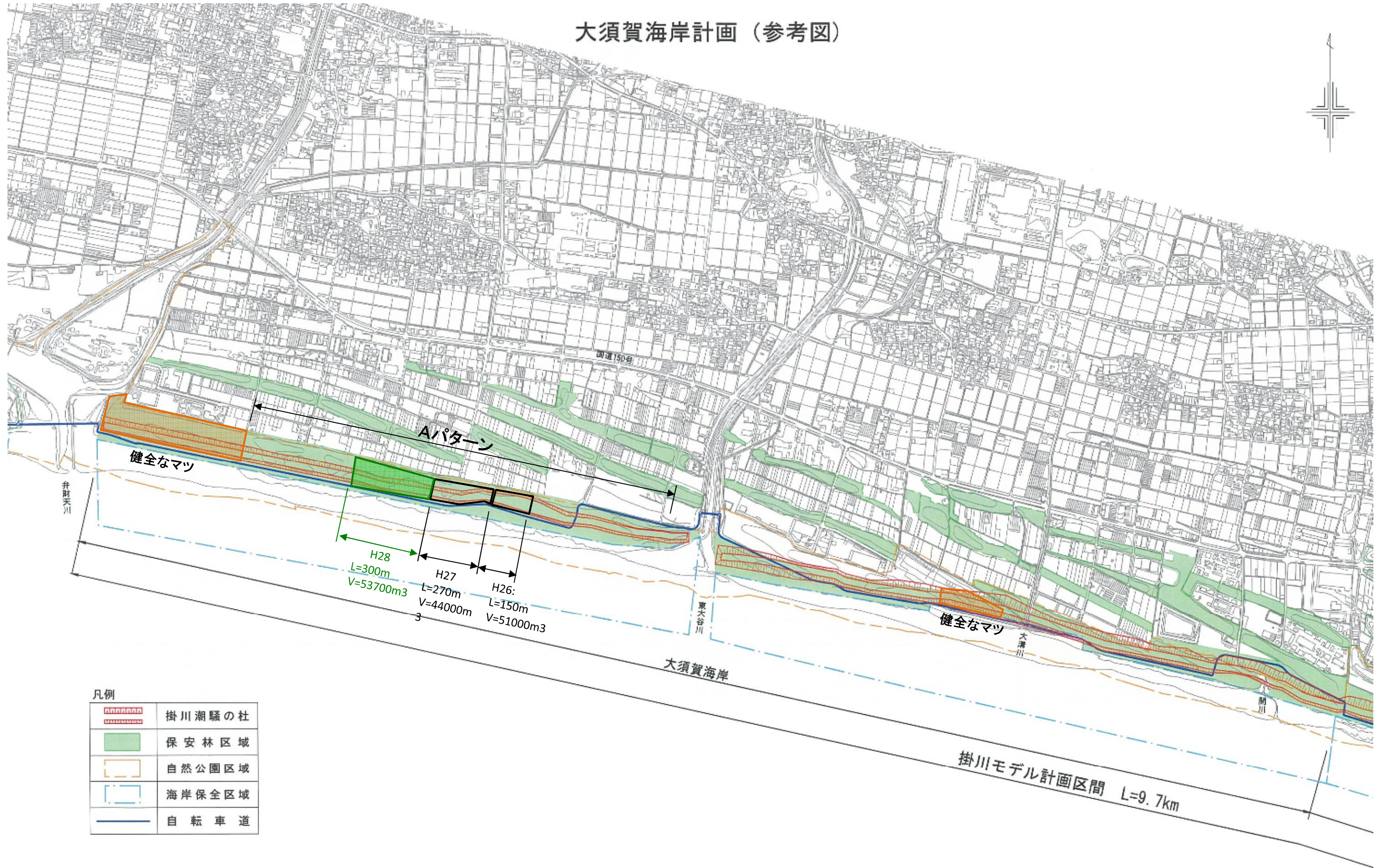
町丁字名	千浜	国安	浜川新田	三俣	浜野	大淵	沖之須	西大淵
地区面積 (km <sup>2</sup> )	4.65	1.91	1.22	1.02	2.36	12.73	2.07	7.10
地区浸水面積 (km <sup>2</sup> )	0.64	0.78	0.31	0.15	0.59	1.09	0.74	0.50
割合 (%)	14	41	25	15	25	9	36	7
1 cm以上 1 m未満 (km <sup>2</sup> )	0.31	0.20	0.19	0.08	0.29	0.45	0.37	0.38
割合 (%)	7	10	16	8	12	4	18	5
1 m以上 2 m未満 (km <sup>2</sup> )	0.24	0.38	0.10	0.03	0.15	0.32	0.16	0.10
割合 (%)	5	20	8	3	6	3	8	1
2 m以上 5 m未満 (km <sup>2</sup> )	0.09	0.19	0.01	0.04	0.12	0.27	0.18	0.02
割合 (%)	2	10	1	4	5	2	9	
5 m以上 (km <sup>2</sup> )		0.01	0.01		0.03	0.05	0.03	
割合 (%)		1	1		1	0	1	

ケース⑥（駿河湾～紀伊半島沖に大すべり域＋超大すべり域、分岐断層）

出典：掛川市 HP（掛川市町丁字別 第4次地震被害想定）



# 大須賀海岸計画（参考図）



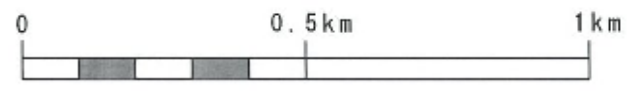
凡例

	掛川潮騒の社
	保安林区域
	自然公園区域
	海岸保全区域
	自転車道

H28  
L=300m  
V=53700m<sup>3</sup>

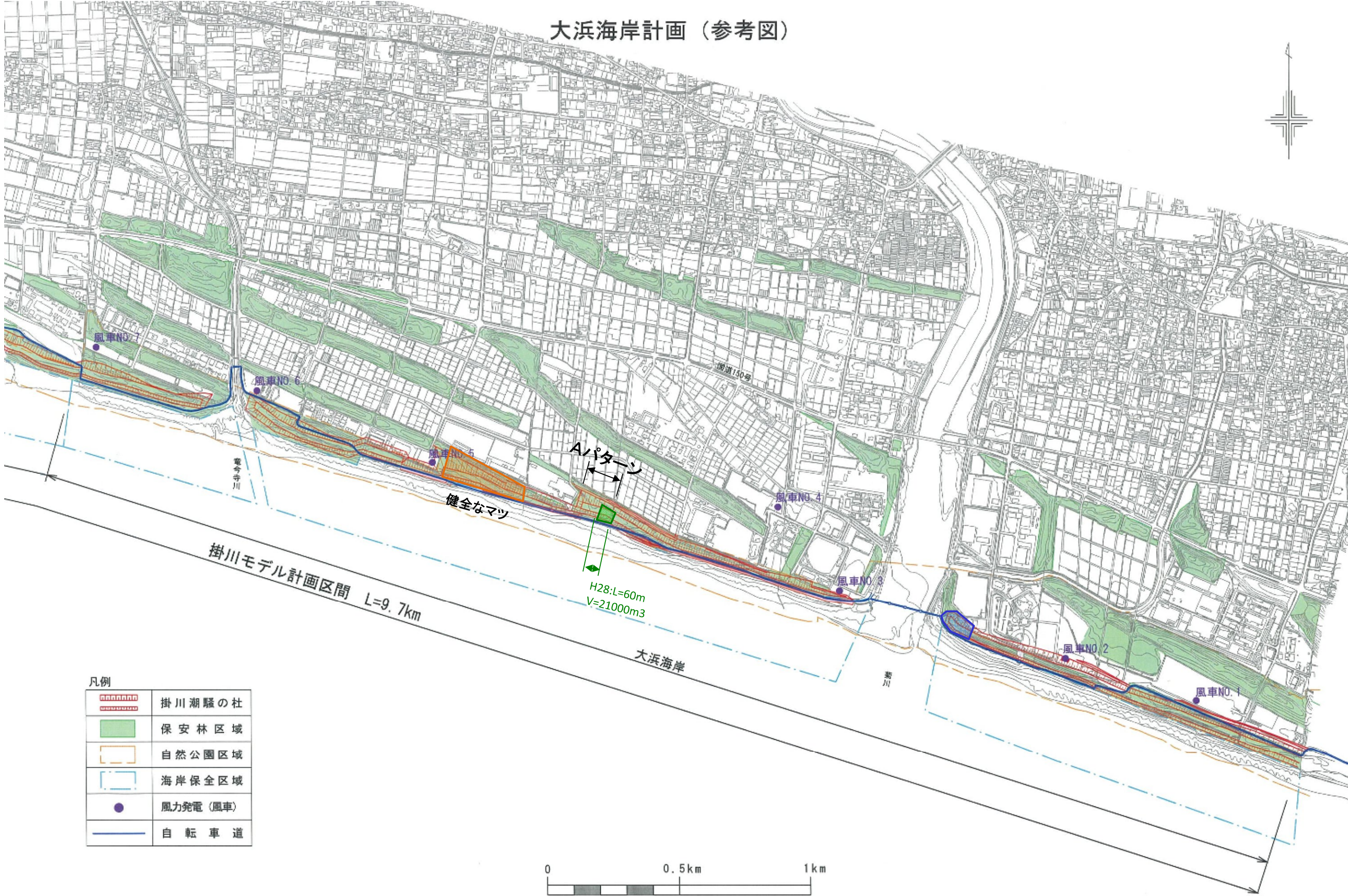
H27  
L=270m  
V=44000m<sup>3</sup>

H26  
L=150m  
V=51000m<sup>3</sup>





# 大浜海岸計画（参考図）



凡例

	掛川潮騒の杜
	保安林区域
	自然公園区域
	海岸保全区域
	風力発電（風車）
	自転車道

